

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。（各10点）

1 607年に遣隋使として隋に送られた人物はだれですか。

答え

2 894年に遣唐使の停止を提案した人物はだれですか。

答え

3 元寇のときの鎌倉幕府の執権はだれですか。

答え

4 明との貿易（日明貿易）を始めた将軍はだれですか。

答え

5 鎖国中、オランダと貿易をした長崎の人工の島を何といいますか。

答え

6 1853年に浦賀に来航し、開国を求めたアメリカの人物はだれですか。

答え

7 1854年に結ばれ、下田と函館を開いた条約を何といいますか。

答え

8 1894年に領事裁判権の撤廃に成功した外務大臣はだれですか。

答え

9 1911年に関税自主権の回復に成功した外務大臣はだれですか。

答え

10 1956年に、日本の国際連合加盟のきっかけとなった宣言を何といいますか。

答え

- 1 答え：小野妹子
- 2 答え：菅原道真
- 3 答え：北条時宗
- 4 答え：足利義満
- 5 答え：出島
- 6 答え：ペリー
- 7 答え：日米和親条約
- 8 答え：陸奥宗光
- 9 答え：小村寿太郎
- 10 答え：日ソ共同宣言

要点まとめ

- ・ 古代は中国に学ぶ（遣隋使・遣唐使）。中世は貿易と元寇。
- ・ 近世は南蛮貿易から鎖国へ。鎖国中も4つの窓口で交流。
- ・ 開国の不平等条約は、1894年と1911年の2段階で改正。

解法ポイント

- ・ 人物とできごとをセットで覚える。
- ・ 年号は、前後関係（どちらが先か）をつかむ。
- ・ 条約は「開いた港」と「内容」をセットで覚える。